

《大森赤十字病院 外来診療担当医一覧》

※午前受付時間 8:30~11:00 (整形外科 8:30~10:00・乳腺外科 月・金 8:30~10:00)

- ・予約のない方で当日診療をご希望の方は、上記時間帯にお越しください。但しお待ちいただくことがあります。
- ・午後の診療は眼科・耳鼻咽喉科を除き予約制です。
- ・医師の都合により担当医師が変更になることがあります。
- ・血液内科・糖尿病内分泌内科・呼吸器内科はご予約の上、紹介状をお持ちください。
- ・休日 土・日・祝・年末年始 (12/29~1/3)

2018/4/2

診療科	曜日	月		火		水		木		金		備考
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
神経内科		前田	鈴木	山田	中瀬	柴田	井上	山之内 川上	山之内	郭		
腎高血圧内科		谷口	渋谷	廣田		渋谷 谷口		廣田		薬師川		
血液内科		塚本			三井	久武		久武				完全予約制(紹介状必要)
糖尿病内分泌内科		船曳		橋本		北里		北里		船曳		完全予約制(紹介状必要)
膠原病リウマチ内科									井上	山田		完全予約制
循環器内科	初診	持田 島田		持田 福井		安部		神原		宮崎		
	再診		福井	神原	持田 安部	市川	宮崎	島田		持田	神原 担当医	
心臓血管外科					田鎖 渡邊							
呼吸器内科		太田(智)		太田(智)		太田(宏)	本間	金井	金井	成澤		完全予約制(紹介状必要) 水 午後 第3週のみ
呼吸器外科		池田 飯田			池田				池田	飯田		
禁煙外来			友安									第1・3・5週
消化器内科		井田 千葉 中岡 立川		後藤 高野 有本 須藤	福井	諸橋 千葉 河野 阿南	新倉	後藤 桑原 新倉 福井/ 担当医	中岡 須藤 立川 太原	諸橋 井田 高野 河野	桑原 有本 阿南	
	泌尿器科	大塚		浅野	浅野	浅野		大塚	大塚			
外科		渡辺 森園		中山 担当医		森園 寺井 安城		渡辺 担当医		渡辺 寺井 西田		
	乳腺外来 ストーマ外来	鈴木	鈴木				中山	担当医	担当医	鈴木	鈴木	月金 午前受付 8:30~10:00
整形外科		井形 斉藤		大日方 穴倉		大日方 葛原		井形 穴倉		葛原 斉藤		
脳神経外科	脊髄空洞症外来	荒川		磯島	館	担当医		磯島	荒川	松本	佐野	
ペインクリニック								市川				
皮膚科		日比野 大野	日比野 大野	乙竹 担当医	日比野 大野	日比野 大野	日比野 大野	大野	日比野 大野	日比野 大野	日比野 大野	火 午前 第1・3・5週 大野 火 午前 第2・4週 日比野
	眼科	秋山 一ノ瀬		秋山 一ノ瀬	北原	秋山 一ノ瀬		秋山 一ノ瀬	担当医	秋山 一ノ瀬		火 午後受付 13:30~16:00
耳鼻咽喉科		中島 田中		中島		中島 永井		中島		中島	担当医	金 午後受付 13:30~15:30 金 午後 第1・3・5週 鈴木 金 午後 第2・4週 木村 木 第2・4週
	補聴器外来			担当医				担当医				
産婦人科	初診	田岡		渡邊		斎藤	北村	清木	間崎	清木	佐久間	金 9:00~9:30 間崎医師 9:30~ 新津医師
	婦人科再診	渡邊		田岡		斎藤	北村	清木	間崎	清木	佐久間	
	妊婦健診	長崎	渡邊	武井	田岡	間崎	佐久間	佐久間	斎藤	渡邊	清木	月 第1週除く
小児科	特殊健診		平野		武井							
	予防接種	大沼 江口		米沢 担当医		古川 担当医		鈴木 江口	鈴木	大沼 古川		予約制
	乳児健診											予約制
	1ヶ月健診											予約制
緩和ケア外来												
特別診療			友安								友安	月 第2・4週



大森赤十字病院 〒143-8527 東京都大田区中央4-30-1 Tel 03-3775-3111 fax 03-3776-0004

No.62 2018年4月10日発行

2018

# 大森日赤 だより

4月号

## Contents

- 特集① 『スギ花粉症の対策について』  
耳鼻咽喉科部長 中島 康博
- 特集② 『白内障について』  
眼科部長 秋山 朋代
- 特集③ 『平成30年度 がんと共に生きるコース、  
がん患者サロンのお知らせ』  
がん看護専門看護師 倉持 亜希



緩和ケアチーム



# スギ花粉症の対策について

耳鼻咽喉科部長 中島 康博

今回は季節がらスギ花粉症の対策  
(生活上の注意点) についてお話しします。



スギ花粉症の方にはつらい季節になりました。対策として重要なのは薬だけで乗り切ろうとはせず同時に抗原回避、除去を励行することです。

現在スギ花粉の飛散状況はテレビ、ラジオ、新聞、などのマスコミやインターネット上でリアルタイムの状況や飛散予報などの情報を得られますので花粉回避に役立ちます。



また花粉対策用の眼鏡やマスクなどの花粉グッズがあります。花粉症用のめがねでは眼に入る花粉を約 1/3 に減らし通常のマスクでは約 1/3、花粉症用のマスクでは約 1/6 に減らせるとされています。

花粉グッズを使用し屋外で花粉を回避しても、帰宅時に体についた花粉を家の中に持ち込むことや外で干した洗濯ものをそのまま部屋に入れると、室内に花粉が蓄積してしまいます。頻りに部屋を掃除する必要があります。

風邪にかかると鼻の中の粘膜が刺激に過敏になり花粉症の症状が悪化します。

また人ごみに行くと多くの花粉が周囲にありますので症状が憎悪します。ストレスも憎悪因子です。

薬を使用する以外にこのように日常生活の中でもポイントがありますので抗原回避、除去を励行してみてください。



## 鼻の病気について

症状：鼻汁、鼻づまり、嗅覚障害、くしゃみ など



慢性副鼻腔炎やアレルギー性鼻炎、びちゅうかくわんきょくしょう鼻中隔彎曲症の可能性があります。これらの病気は合併することが多いです。(慢性副鼻腔炎と鼻中隔彎曲症、アレルギー性鼻炎と鼻中隔彎曲症など)。既往歴に喘息がある方は好酸球性副鼻腔炎も考慮する必要があります。好酸球性副鼻腔炎は通常の副鼻腔炎に比べてポリープ(鼻茸)や嗅覚障害を伴うことが多いです。

内視鏡検査や副鼻腔 CT 検査、アレルギー性鼻炎の採血検査、薬を注射して嗅覚障害の有無を調べる静脈性嗅覚検査などを行って治療方針を決めます。

## 慢性副鼻腔炎

まず薬物療法を行います。マクロライド(抗生剤)の少量長期投与を約2カ月間行います。内服治療で効果がない場合は手術治療を検討します。

## アレルギー性鼻炎

薬物療法や減感作治療(アレルギーの原因物質を少量からはじめて徐々に量を増やしながら体内に入れ、体の過剰な反応を減らしていく治療法)を行います。薬物治療は内服薬と点鼻薬を組み合わせで行います。

減感作治療はスギ、ハウスダストのアレルギーを持っている方に行っています。最近、経口で治療する舌下免疫療法が認可されました。現在、当院においても治療を開始できるよう申請中です。

## 外来日程表

平成30年4月現在

	月	火	水	木	金
午前	中島 田中	中島	中島 永井	中島	中島
午後					担当医

※金曜 午後受付 13:30~15:30

※診療日等が変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。

鼻や耳の症状がある方は、一度耳鼻科を受診しましょう!



# 「白内障について」

眼科部長 秋山 朋代

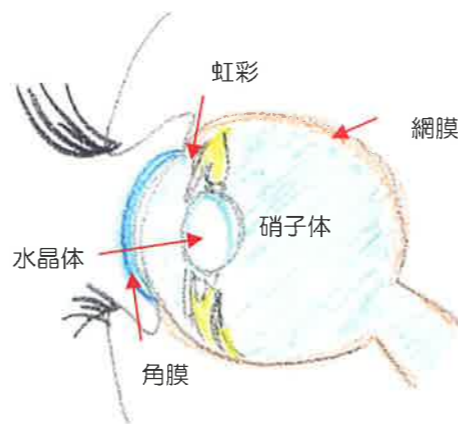
## 白内障について

当院では白内障を中心に手術をしていますので、白内障についてお話しします。

### そもそも眼はどのようにものを見ているのでしょうか。

眼球に入ってきた像が、眼球内の透明な部分を通過して、眼球の後ろ側の内側に広がっている網膜（眼底という方が聞き慣れているかもしれませんが）に映ります。映った情報が電気信号になって神経を通過して脳に伝わり脳が上手く解析して、初めてものが見えます。その際、網膜に像のピントを合わせるためのレンズが眼の中にあり、それを水晶体といいます。

水晶体は若いときには自然に厚みが変わり、カメラの自動焦点のような機能を持っています。その機能を調節力といいます。それが衰えるのが老眼で、40歳くらいから始まり、60歳代にはほとんどの方で老眼が完成します。



## 白内障とは

水晶体が混濁した状態を白内障といいます。原因には、加齢、糖尿病、外傷、紫外線、薬剤性、先天性、などがあります。60歳以上の人の約60%にあるといわれており、視力低下、かすむ、まぶしいなどの症状がでます。視力の数値が良くても自覚的に不自由があれば手術を要します。運転を職業とするような方は不便を感じていなくても安全のために手術を必要とする事もありますし、眼底の病気の治療のために必要となることもあります。先天性白内障では早期に手術をしないと弱視となってしまうため、早期発見が大切です。



正常な目（水晶体がクリアな状態）



白内障の目（水晶体が混濁した状態）

## 白内障の治療

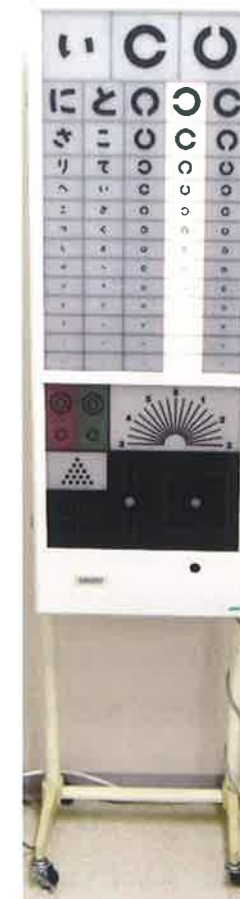
手術以外に根本的な治療方法はありませんが、加齢性白内障初期には点眼薬にてある程度の進行予防効果が期待できるとされています。原因となっている病気があればその治療は大切です。

また、白内障の進行に伴って近視などが進むことがあるので、眼鏡の度数を変えたり、まぶしさに対して特殊なレンズのサングラスをかけたりのことで、自覚症状が改善することもあります。

## 白内障手術

手術は、水晶体の混濁を除去し、人工の眼内レンズを挿入する手術を同時に行う方法が一般的です。眼内レンズは通常、終身、入れたままで取り替えるなどの必要はありませんし、選び方によっては、手術前にあった近視や遠視が減らせます。眼内レンズには単焦点レンズ（遠くか近く、もしくはその中間のどこかにピントを合わせるように選択をする。基本的には術後も眼鏡が必要）、多焦点レンズ（遠くにも近くにもピントが合うが、それぞれの画質は劣る。）があります。手術は基本的には保険適応ですが、多焦点眼内レンズは適応外ですので自費診療となります。当院では年間約400件の白内障手術を行っており、多焦点眼内レンズやトーリックレンズ（乱視矯正用）の取り扱いはありません。基本的に片目で2泊3日の入院が必要です。

他の施設では1泊や日帰り手術、両眼同時手術をしているところもあります。



## 最後に

加齢に伴う視力低下の原因として白内障は比較的知られているため、自分もいつか手術をすれば治るだろうという考えで、視力低下を放置している方もいます。視力低下の原因となる病気には白内障のほかにもさまざまあり、早期に発見して長期に予防的な治療をしたり、緊急に治療したりしないと手遅れになるものもあります。自己判断で放置せず、きちんと眼科に受診して診断を受けることが、質のよい見え方、質のよい日常生活に結びつくと思います。

### 外来日程表

平成30年4月現在

	月	火	水	木	金
午前	秋山 一ノ瀬	秋山 一ノ瀬	秋山 一ノ瀬	秋山 一ノ瀬	秋山 一ノ瀬
午後		北原		担当医	

※診療日等が変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。





# 平成30年度 がんと共に生きるコース、 がん患者サロンのお知らせ

がん看護専門看護師 倉持 亜希



【看護部】  
がん看護専門看護師  
倉持 亜希

大森赤十字病院では、東京都がん診療連携協力病院（大腸がん・肝臓がん）として、がん患者さんとそのご家族のサポートを行っています。その取り組みのひとつとして、「がんと共に生きるコース」と「がん患者サロン」があります。これはがん患者さんとそのご家族が、がんという病気を理解すること、がん患者さん同士が互いの経験や悩み、不安を話し合える場を持つことを目的としています。

がんの治療や療養生活においては、いろいろな悩みや不安が出てきます。たとえば、がんの病気そのもののことや、療養や社会復帰のこと、経済的なことなど、普段の生活についての心配事や気になることがあっても、誰にどのように相談すればよいのか思い悩むことは孤独感が深まる原因になることもあります。このようなときに当事者の視点で話を聞き、支えになってくれるのが「患者同士の支え合い」です。ほかの患者さんの話を聞くことによって、「悩んでいるのは自分ひとりではない」と感じられたり、「同じような問題を抱えている人がほかにもいる」ということがわかるだけでも、気持ちがずいぶん楽になるものです。さらに、ほかの患者さんの経験を聞くことで、自分の悩みを解決する糸口を見つけたり、問題との付き合い方を学んだりすることもできます。また、がんの体験を素直に話して伝えることで、自分が病気のことをどのように受け止めていたのかがはっきりとしてきたり、同じ体験をしたひとの話聞いてもらうことにより安心感や連帯感が生まれているという利点もあります。

平成30年度の開催予定は以下のように決まりましたので、お知らせいたします。会場等、変更する場合がありますので、決定次第病院に設置してあります案内用紙やホームページでご案内いたします。

コースやサロンへの参加は敷居が高いと感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、一人で悩んでいることがありましたら、一度、参加してみませんか。皆様のご参加を、お待ちしております。

**がんと共に生きるコース**

がん患者さん、がん患者さんのご家族を対象にミニ講義を開催しています。講義の後は患者さん同士の情報交換の場を設けています。

対象：悪性腫瘍（がん）の患者さん及びご家族、また、全日程に参加できる方（全日程の参加が難しい方はご相談ください）

場所：大森赤十字病院 通院治療室（1階）

参加するためには事前の申し込みが必要です。都合案内でお申し込み下さい。3名以上の申し込みで開催します。

日程	ミニ講義の内容
5月19日（土） 10時30分～12時	がんの現状
6月23日（土） 10時30分～12時	がんの治療と副作用対策（抗がん剤について）
7月21日（土） 10時30分～12時	がんと生活

中止の場合、前日の午後には院内ホームページでお知らせします。また、事前にメールアドレスをご登録の方はメールでお知らせいたします。

お問い合わせ：大森赤十字病院  
Tel. 03-3775-3111(代) 担当：倉持

**がんと共に生きる 乳がんコース**

がん患者さん、がん患者さんのご家族を対象にミニ講義を開催しています。講義の後は患者さん同士の情報交換の場を設けています。

対象：乳がんの患者さん及びご家族、また、全日程に参加できる方（全日程の参加が難しい場合はご相談ください）

場所：大森赤十字病院 通院治療室（1階）

参加するためには事前の申し込みが必要です。都合案内でお申し込み下さい。3名以上の申し込みで開催します。

日程	ミニ講義の内容
8月18日（土） 10時30分～12時	乳がんの現状
9月8日（土） 10時30分～12時	乳がんの治療と副作用対策（抗がん剤を中心に）
10月20日（土） 10時30分～12時	がんと生活

中止の場合、前日の午後には院内ホームページでお知らせします。また、事前にメールアドレスをご登録の方はメールでお知らせいたします。

お問い合わせ：大森赤十字病院  
Tel. 03-3775-3111(代) 担当：倉持

## がんと共に生きるコース

がんと共に生きるコースは、がんの患者さんおよびそのご家族を対象としており、がんに関するミニ講義後、患者さん同士の情報交換の場となっています。3回連続しての参加となります。事前の申し込みが必要ですので、総合案内でお申し込み下さい。3名以上の申し込みで開催いたします。他院に通院中の方もお気軽にご参加ください。開催中止の場合、病院ホームページでお知らせします。また、事前にメールアドレスをご登録の方にはメールでお知らせいたします。

**がんと共に生きるコース 時間：10時30分～12時 会場：1階 通院治療室**

日付	テーマ	ミニ講義担当
5月19日（土）	がんの現状	がん看護専門看護師
6月23日（土）	がんの治療と副作用対策（抗がん剤治療を中心に）	がん性疼痛看護認定看護師
7月21日（土）	がんと生活	がん性疼痛看護認定看護師

**がんと共に生きるコース 乳がん 時間：10時30分～12時 会場：1階 通院治療室**

日付	テーマ	ミニ講義担当
8月18日（土）	乳がんの現状	がん看護専門看護師
9月8日（土）	乳がんの治療と副作用対策（抗がん剤治療を中心に）	緩和ケア認定看護師
10月20日（土）	がんと生活	がん性疼痛看護認定看護師

## がん患者サロン

がん患者サロンは、患者さん同士の語らいの場です。テーマに沿ったミニ講義のあと、情報共有を行っております。がん患者さんとご家族なら、どなたでもご参加いただけます。事前申し込みも可能です。総合案内でお申し込みください。開催中止の場合、病院ホームページでお知らせします。また、事前にメールアドレスをご登録の方にはメールでお知らせいたします。

今年度は公開講座を設けています。公開講座は事前申し込み不要で、がんに関わらずどなたでも参加可能です。講義と実技が中心となります。

**がん患者サロン 時間：14時～15時30分 会場：3階 リハビリテーション室2**

**がん患者サロンのご案内**

がん患者サロンは、患者さん同士が語り合う場です。ミニ講義のあと、情報共有を行います。がん患者さんとご家族なら、どなたでもご参加いただけます。事前申し込みも可能です。総合案内でお申し込みください。開催中止の場合、病院ホームページでお知らせします。また、事前にメールアドレスをご登録の方にはメールでお知らせいたします。

日付	テーマ	講師
6月21日（木）	がんとのつき合い方（心の持ち方）	がん看護専門看護師
9月20日（木）	がんリハビリテーション（公開講座） *講義と実技	理学療法士
12月20日（木）	がん痛み	がん性疼痛看護認定看護師
3月14日（木）	がんと生活	緩和ケア認定看護師

## 当院への交通のご案内

京浜東北線 「大森駅」(約8分)

西口より東急バス①～④番「大田文化の森」下車

東急池上線 「池上駅」(約10分)

東急バス「大森駅」行き「入新井第四小学校」下車

東急大井町線 「荏原町駅」(約10分)

東急バス「蒲田駅」「大森駅」行き「大森日赤前」下車

車

首都高速 湾岸線 「大井南」出口下車 (約18分)  
首都高速 1号羽田線 「平和島」出口下車 (約15分)  
首都高速 2号目黒線 「戸越」出口下車 (約16分)

駐車場のご案内

立体駐車場 (107台) 車椅子用駐車場 (2台)  
【料金】最初の30分無料 以降30分100円  
入庫後24時間 最大1,000円  
※患者・面会者に限る